

旧元町小学校地下部分について

1 過去の資料における旧元町小学校地階部分についての記述

- 1) 「旧元町小学校耐震補強工事実施設計」（平成22年2月）
建築概要書には、「地下1階、地上3階」と表記されているが、面積的な区分表示はない。各種の改修図面には「地階」という記載は図面上ではされていない。
- 2) 「東京都教育施設復興図集」（昭和6年）
建物概要に「地階 42.05坪※」並びに「1階地階平面建具表」「概略平面図」に地階には「機械室」「物置」「給湯所」「小使室」があると記載されている。※（42.05坪＝約139.00㎡）
- 3) 「平成13年度公立学校施設等の総括表（小学校）」
「本郷小学校 平面図」と明記されている建物調査図面には「地階平面図」としての平面図の記載があるが面積記載はない。図上求積では約150㎡の面積となっている。

2 現地視察の実施状況

実施日：平成26年12月9日

視察人員：文京区 企画政策部長、政策研究担当課長、みどり公園課長、施設管理課長（技術）、その他区職員、㈱東京ランドスケープ研究所担当者

視察内容：3箇所入口より、地下部分の視察を行った（別添資料参照）。

- 1) 校舎正面入口近傍の廊下にあるハッチより東側地下に降り（別添資料①の箇所）、別添資料写真番号1～9の順に視察。
- 2) 校舎外周のドライエリア階段より北東側地下に降り（別添資料③の箇所）、別添資料写真番号18～24の順に視察。
- 3) 校舎内階段より校舎北東側地下に降り（別添資料②の箇所）、別添資料写真番号10～17の順に視察。

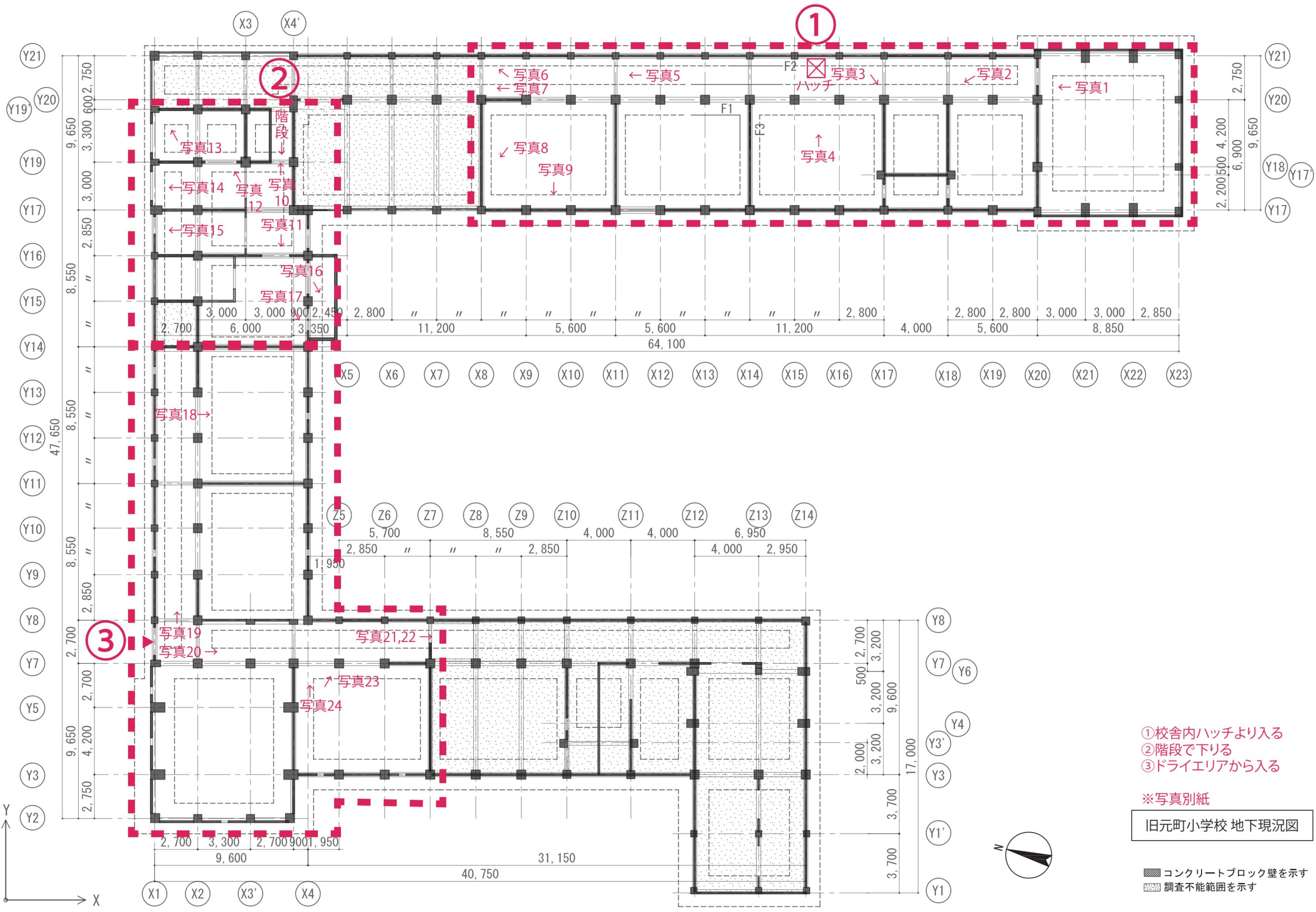
以上による視察の結果、別添地下現況写真と同様の状況であることを確認した。

3 まとめ

過去の資料における旧元町小学校地階部分についての記述及び現地視察の状況から、旧元町小学校の地下は現在、別添資料②の箇所にある防災倉庫等として使用されている部分と推察される。

これ以外の部分は、ピット等のデッドスペースであると想定され、地下として使用するためには、現行の建築基準法等、各種法令に合致した形態を整える必要がある。

この場合、すぐさま「使用できる」ものではなく、関係機関との協議を経て、使用の条件・制限等が示される。もしくは使用できないという判断も考えられることから、これ以上の調査等を継続していくことは経済合理性に乏しく、メリットはないものと思われる。



- ① 校舎内ハッチより入る
- ② 階段で下りる
- ③ ドライエリアから入る

※写真別紙

旧元町小学校 地下現況図

コンクリートブロック壁を示す
 調査不能範囲を示す

地下現況写真資料

①

写真 1



写真 2



写真 3



写真 4



写真 5



写真 6



写真 7



写真 8



写真 9



②

写真 10



写真 11



写真 12



写真 13



写真 14



写真 15



写真 16



写真 17



③

写真 18



写真 19



写真 20



写真 21, 22



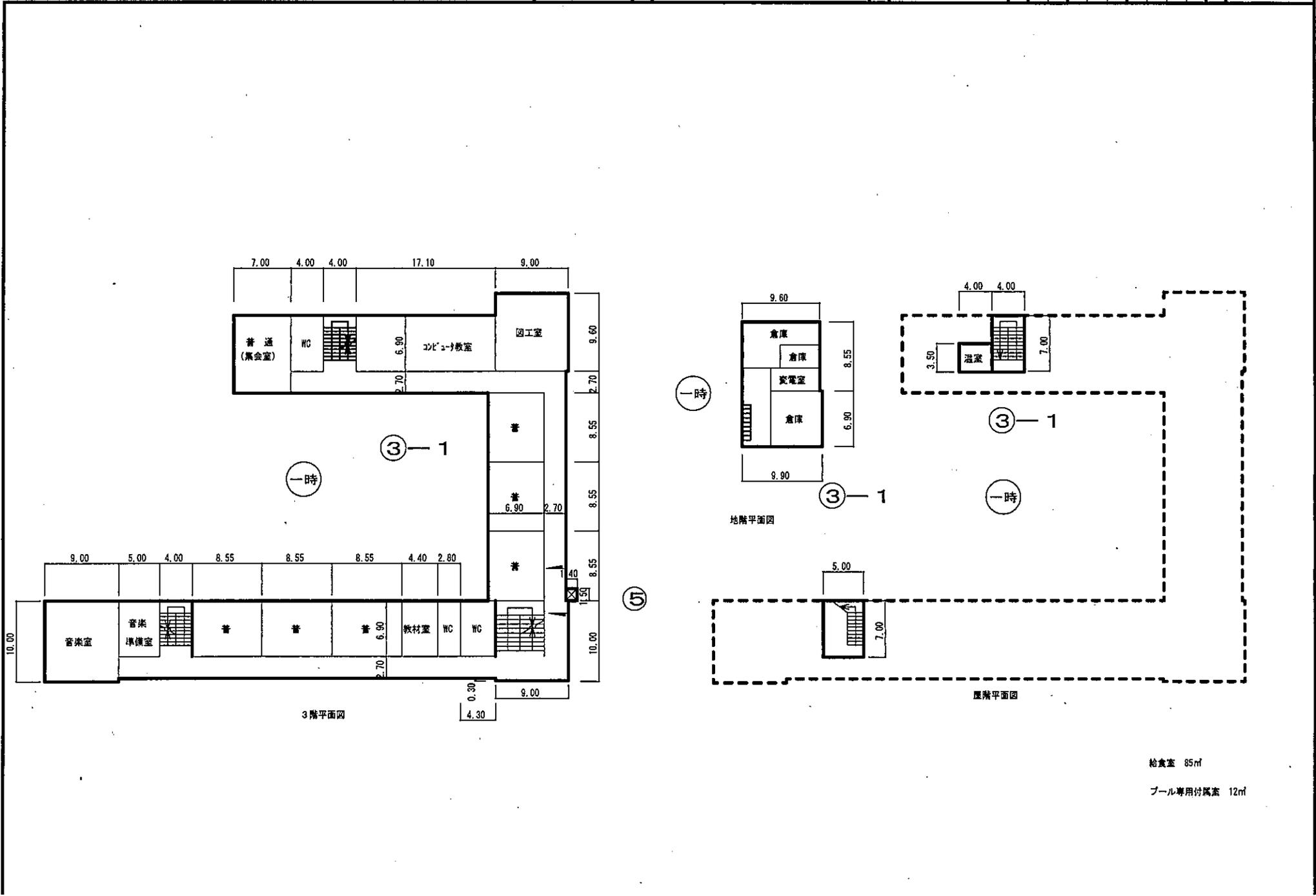
写真 23



写真 24



(平成13年度)



給食室 85㎡
 プール専用付属室 12㎡